



普天間バプテスト教会50周年記念誌

沖縄バプテスト連盟
普天間バプテスト教会
附属緑ヶ丘保育園

「神の恵みと摂理の中で」

普天間バプテスト教会
牧師 神谷武宏

普天間バプテスト教会は、2008年に教会組織50周年を迎えました。教会の始まりは、一人の信徒（新里信姉）が普天間から那覇バプテスト教会へ通い続ける信仰から起こされています。当時、故照屋寛範師がその信徒のことを見かねて、1955年に普天間での開拓伝道が始められました。翌年伝道所となり、1958年7月、教会組織をしています。その間、故山路一師、故シュワルツ師、故ボーリンジャー師、国吉守師（現在那覇バプテスト教会牧師）が教会初期（～1962年）の頃に働かれています。その後、名護良健師が長く牧会され（～1995年。※中城城東教会を牧会しながら1997年まで兼牧。現在当教会名誉牧師）、当教会の基礎をつくられました。それは、「歴史を捨象しない」キリスト者の育成であり、《地の塩、世の光》としての教会のあり方であったかと思われます。さらに、藤田久雄師（～2000年。現在小録バプテスト教会牧師）、W.T.ランドール師（～2007年。現在当教会名誉牧師）と引き継がれ、現在に至っています。

「歴史を捨象しない」ということから、少し当教会の特筆すべき出来事に触れさせていただきます。それは、70年代後半から80年代にかけて、いわゆる「ランドール宣教師解任問題」が起き、教会内外において激動の時期をむかえたことです。当時、当教会の協力牧師であったランドール師が、宣教師派遣もとであるアメリカン・ボードから「米軍との不一致」を理由に宣教師職を解任されたのでした。またこの問題に伴い、同師の協力牧師留任を許す当教会の責任が問われ、「第30回沖縄バプテスト連盟年次総会」（1983年）にて連盟除名の討議がなされました。結局、反対者が多く否決されましたが、その後、数名の方が当教会を去るという分裂が起き、悲しく、辛い出来事として歴史に刻まれました。しかし別れていった方々によって新たな教会が生み出されたことは、神の摂理のように思います。この問題は十分に解決したとはいえませんが、ランドール師の人を恐れず、神を畏れ、平和を愛するキリスト者としての揺ぎ無い信仰は、信徒一人ひとりに大きな示唆を与えたものでした。

現在このような歩みの中で、ミカ書6章8節《正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩む》を教会聖句とし、教会の働きとして目指すべき指針であるとしています。それは、「歴史を捨象せず、平和を脅かす状況に警鐘を鳴らす」という《地の塩、世の光》としての役割を教会は担うべきであると考えからです。

当教会の50年の歩みは、主の憐みは勿論のこと、多くの方々による働きと祈り、またご支援の賜物であります。改めて感謝いたしますと共に、平和なるキリストの宣教に、これからもご一緒に歩んでいきたいと心から願います。

歴代の牧師・保育園園長



山路 一 牧師
1956.6 牧師(初代)



E・ポーリンジャー宣教師
1956.7 牧師(2代目)
1972.4~73.3 牧師代行



R・E・シュワルツ牧師
1957.4~59.1
牧師団より協力
(米空軍軍曹)



国吉 守 牧師
1959.9 牧師(3代目)



名護 良健 牧師
1962.5 副牧師
1963.1 牧師(4代目)
1964.4 園長(初代)
※1972.4~73.3 年国内留
学のため辞任。翌年再任。



渡真利文三牧師
1972.4~73.3
園長代行



藤田 久雄 牧師
1997.4 牧師(5代目)
同年 園長(2代目)



W・T・ランドール牧師
1977.5 協力牧師
2000.4 牧師(6代目)
同年 園長(3代目)



神谷 武宏 牧師
2007.4 副牧師・副園長
同年 10月牧師(7代目)
同上 園長(4代目)

写真で綴る教会の歩み



←1956年6月普天間伝道所開設。
襦袢商店(雑貨・料亭)の一部屋を借家
として集会を始める。

1958年頃。開拓伝道時代の高校生ピ
クニック。左後列 R・E・シュワルツ師。↓



1965年頃の特別伝道集会。
右奥、国吉守師、中央講壇に立つボーリンジャー
師。



1966年頃。旧会堂玄関前にて、名護牧師
ご夫妻と信徒の方々。



← 1957 年頃の伝道所時代。高校生クラスの分級。左側平良節子姉。



伝道所時代の新里信姉(左)と桃原静子姉(右)→



↑ 1964 年 4 月緑ヶ丘保育園開園。当初の荒削りの園庭で遊ぶ園児たち。



↑ 1965 年 3 月第一回卒園式。11 名の入園から第一号の卒園生は 1 名(野崎淳くん)。

改築後の解放感あふれる園庭で、どろんこ遊びを楽しむ子どもたち(2009 年)。↓



1990 年 8 月 5 日「カテナ90人間の輪」へ参加(嘉手納・普天間基地包囲運動には毎回教会として参加する)。↓



1996 年 6 月 16 日平和学習ツアー(平和の礎)。毎年教会行事として、平和学習(戦跡・資料館巡りや講演会)をする。竹内晶姉(左)、高木まりさ姉(右)。↓





↑左から、照屋キク姉、マキシ姉、藤田榮子姉 1999.11.7

←1997年の敬老の日にて



↑1984年8月13日教会キャンプ



↑1998年7月25日教会キャンプ

↓1989年 神谷武宏兄・明美姉の真夜中の結婚式(2:30am)



↑左から、新里信姉、名護タケ先生、伊波トヨ姉 1990年頃

日本基督教団読谷教会にて「ピース・コンサート」ゲスト出演、聖歌隊(1999.6.20) ↓

